



大成ロテック株式会社

対象期間: 2012年4月1日~2013年3月31日
一部当該期間以外の内容も掲載しています。

対象範囲: 大成ロテック及び関連会社の活動の一部も含まれています。

お問い合わせ: CSR報告書に関するお問い合わせ窓口は、以下となります。

住 所 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー

電 話 03-5925-9431

ファックス 03-3362-5803

担当部署 経営企画部 総務部

当社の活動は、インターネットのホームページでも公開しています。

<http://www.taiseirotec.co.jp/>



大成ロテックはチャレンジ25キャンペーンに参加しています。



大成ロテック株式会社
代表取締役社長

藪田 英俊

近年、異常気象による自然災害が多く発生しているなか、人と自然との対話が、ますます切実なものになっています。

当社は、「人がいきいきとする環境を創造する」という大成建設グループの理念のもと、わが社の保有している環境技術を活かして、現代社会に必要な環境整備に繋がる企業活動を行っております。

また、当社は「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する」ことを企業理念として掲げています。

その企業理念実現のため、品質管理やリスク管理を徹底し、コンプライアンス体制の強化にも取り組み、当社の堅実性・信頼性を維持しながら地域とのコミュニケーションや、社会貢献を通じて地域社会との共生につとめるとともに、地球環境にやさしく、災害に強い技術や工法の開発を進めております。

このたび、「CSR報告書2013」に当社の活動をまとめましたので、ご一読いただき、ご意見をいただければ幸いに存じます。

これからも、当社は大成建設グループの一員として、企業価値を高め、社会に貢献できるよう活動していく所存です。

何卒皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

企業理念

自然と社会と人に深くかかわる企業として、
人々のためにより良い環境を創造する。

品質方針

大成ロテックは、社会と顧客から評価され、
信頼される快適環境を創造する。

- ①技術の研鑽に努め、創造力と知恵を結集し、製品の品質を向上させる。
- ②製品の品質を確保するため、業務の効率化と継続的な改善を行う。
- ③コンプライアンスの徹底により、社会的責任を果たす。

安全衛生方針

大成ロテックは、安全衛生マネジメントシステムを確実に運用し、事故・災害の撲滅と健康で明るい職場の快適環境を創造する。

- ①P・D・C・Aのサイクルを回し、労働災害及び公衆災害の撲滅を実現する。
- ②「先手管理」、「一人KY」等の先取り型の安全管理活動により、事故・災害を防止する。
- ③労働安全衛生に関する法令、規則、社内規定を遵守する。
- ④従業員並びに協力会社が一体となり安全衛生活動を推進し、安全衛生管理体制水準の向上を図る。

環境方針

大成ロテックは、道路建設業を通じて地球環境を美しく保ち、早く整えて次の世代に引き継ぐために、環境保全活動を継続的に改善し、快適環境を創造する。

- ①環境に関する法律、規則、協定等を順守するとともに、自主的な目的・目標を設定し実行する。
- ②事業活動のあらゆる分野における地球温暖化防止および環境汚染の予防に努め、循環型の社会実現のために貢献する。
- ③地域社会とのコミュニケーションを図り、地球環境の保全に協力する。

目次

代表者メッセージ	P01
企業理念	P02
コーポレート・ガバナンスと内部統制	P03
教育・研修	P04
環境技術紹介	P05
企業市民	P07
技術研究所	P08
環境活動報告	P09
オフィスにおける環境保護活動	P09
マテリアルフロー	P10
マネジメントシステム	P11
会社概要	P11
事業所ネットワーク	P12
CSR報告書に関する情報	巻末

技術・知識だけではなく、社会に貢献できる
人材育成にも注力しています。

■ コーポレート・ガバナンスに対する基本的な考え方

大成建設グループのコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、「経営の効率性ならびに透明性・健全性を高め、コーポレート・ガバナンス体制を充実させることで株主・顧客をはじめとした会社関係者の信頼を深めていく」ということです。そのため、グループ各社におけるコーポレート・ガバナンス体制のなお一層の整備を図り、グループ全般にわたる企業価値の向上を目指しています。

■ 内部統制

大成ロテックは、取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制、その他業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）に関して取締役会において決議し、適正で効率的な体制の実現を目指しています。その具体的な施策および整備状況は下記の通りです。

1

コンプライアンス体制

「大成ロテック企業行動規範」をはじめとするコンプライアンス体制に係る諸規程に加え、法令上疑義のある行為等について役職員等が直接情報提供を行う仕組みを定めた「内部通報規程」を整備しています。

2

情報管理体制

「社内用文書管理規程」等の文書・情報関連の社内規程を整備しています。

3

リスク管理体制

損失の危険の管理に関する規程である「リスクマネジメント基本規程」「リスク管理規程」「事業継続計画（BCP）」に加え、近年社会問題化している情報漏洩対策のため「情報セキュリティ管理規程」を整備しています。

4

企業集団における業務の適正を確保するための体制

大成ロテックおよび子会社からなる企業集団における業務の適正の確保のため、「大成ロテックグループ会社運営要綱」を整備しています。

■ コンプライアンス研修

大成ロテックは、平成10年に「大成ロテック企業行動規範」を制定。「法令等(法令、条例、慣習等の社会的ルール、社内ルール)の遵守と社会的良識をもって行動する」をスローガンに、継続的な組織・体制の整備を実施しています。

また、役職員一人ひとりに対してコンプライアンスの精神を徹底させるために、継続的に全社規模でコンプライアンス教育を計画。本社担当者による研修会を全国の事業所で実施しています。

ここでの内容は、大成ロテック企業行動規範並びに諸規定の解説だけではなく、独占禁止法、建設業法、入札・談合、産業廃棄物に関する処理法から、セクハラやパワハラなどの人権問題にいたるまで、多岐にわたり具体的な問題を取り上げ、全社的なコンプライアンスの強化に努めています。



■ 人権研修

大成ロテックでは、役員、支社長、本社幹部社員を対象として人権研修を毎年開催。研修を通じて人権・人格の尊重という大命題を系統的に学ぶことにより、差別のない社会の実現と、社内においてはパワハラ・セクハラなどのない良好な職場環境づくりを目指しています。人権研修の内容は、冊子にとりまとめて全従業員に配布し、周知を図っています。

また、各種集合研修において、人権に関するカリキュラムを取り入れています。



■ 人事部研修

企業の社会的責任を果たしていくためには、技術の向上と人づくりが不可欠の要素であるとする当社では、上記の各研修に加え、以下のような社員の各階層のニーズに即した多様な研修を実施しています。

- 新入社員研修（合同、技術、フォローアップ）
- 職種別研修（基礎技術、工事担当者、合材担当者、営業担当者、管理担当者、情報化施工、統括安全衛生責任者、プレゼンなど）
- 所長研修（事業所長、営業所長など）
- マネジメント研修（新任係長、新任課長など）
- 資格取得研修（1級土木、1級舗装）

卓越した技術力とノウハウで
環境配慮型の技術を追求めます。

企業にとって、自らが社会や環境に役立つ事業を展開することが社会貢献の第一義であるはずですが、大成ロテックは、これまで培ってきた技術力とノウハウを背景に、環境技術として、路面騒音・振動の抑制、ヒートアイランド対策、地球温暖化対策など、目的別に多彩な新技術・工法を次々に開発。本業を通じて、地球環境の保護・改善に貢献しています。



路面振動・騒音の抑制

- 透水性・排水性舗装「ポーラスペーブ」—— 透水性、排水性が高く、降雨時の安全走行や低騒音を実現する舗装。
- 排水性トップコート工法—— 排水機能を維持し、耐摩耗性や骨材飛散などに対する耐久性を向上。
- パームス工法—— 排水性・透水性舗装の路面強化、機能強化する樹脂モルタル充填工法。
- マップ工法—— 2種類のアスファルト混合物を同時に敷き均す画期的な舗装工法。
- 骨材露出工法—— コンクリート舗装のすべり抵抗性を改善する表面処理工法。

舗装の長寿命化

- TR-200'S混合物—— 流動抵抗性や摩耗抵抗性を飛躍的に高めた熱硬化性アスファルト混合物。
- プレキャストコンクリート舗装—— 短時間で供用開始が可能なコンクリート舗装の補修工法。
- リラクスファルト舗装—— リフレクションクラックや低温クラックなどの発生を抑制する舗装。

ヒートアイランド対策

- 保水性舗装「フールロード」—— 保水性舗装の“打ち水効果”により、路面からの放射熱を軽減。
- セラクールシステム舗装—— 保水性ブロックと自動給水システムを組み合わせた環境舗装システム。
- 遮熱性舗装「フールウェイ」—— アスファルト舗装上に太陽光を反射させる特殊塗料を塗布した舗装。
- 芝生パーキング—— 芝生の生育環境を保護し、駐車場としての機能を確保する舗装工法。
- ソイルバーン工法／エクセレントソイル—— マサ土と専用固化材の混合物を表層に適用した土系舗装。

地球温暖化対策

- ビスコミックス—— 製造時の排出CO₂量を14%削減した中温化アスファルト混合物。
- TDM・TDMオールウェザー—— 強度、耐久性に優れたパッチングやポットホールの穴埋め用合材。

リサイクル

- ウッドファイバー舗装—— 間伐材を再利用し、クッション性が高く自然に調和する舗装。
- ソフトウォーク—— ゴムチップ舗装の高機能を低コストで実現させた歩行者系弾性舗装。
- シルバーウォーク80—— 高齢者や障害者が安全で快適に通行できるバリアフリー歩道。
- Jトラック—— 人工芝リサイクル材、砂、結合材を練混ぜた全天候型馬場用表層材。
- ヒートリフレッシュ工法—— 低コストでCO₂削減効果のある路面の再生工法。

景観の創生

- インジェクト工法—— 大型車の走行にも対応する耐久性抜群の自然石を用いた石張り舗装工法。
- TNC自然色舗装—— 天然の骨材色を表現し、あらゆる景観に適応する自然色舗装。

地下水の涵養

- 地下貯水工法—— 豪雨時の浸水被害対策と利水にも有効な雨水貯留浸透施設。

防災対策

- スーパーフレックスファルト—— 地震に強いアスファルト遮水壁。

地域社会に密着した多彩な活動も展開しています。

大成ロテックは、全国の各支社・事業所単位で、地域行事への積極的な参加はもちろん、地域の特性を考慮した自主的な活動も展開。地域に溶け込み、地域の人々との相互理解と交流を深めています。

除雪作業の危険を伝える授業 [北海道支社]

道央事業所では、札幌市西区内の小学校にて除雪車の試乗会を開きました。今シーズンが3回目で、大型ロータリー車やグレーダーなど4台をグラウンドにならば、子供たちを運転席に案内しました。

試乗会では、重機の後方に死角があることを学び、作業中の機械周辺に近寄ることの危険性を実感してもらいました。



旧モーガン邸の庭園清掃ボランティア活動に参加 [本社]

一般社団法人日本建設業連合会主催の社会貢献活動の一環として、神奈川県藤沢市の「旧モーガン邸」で庭園清掃のボランティア活動が行われました。

日建連によるボランティア活動は3回目で、草刈りや伐採された枝の切断を行い、暑さや虫と「格闘」しながらの活動となりました。

「旧モーガン邸」は、昭和6年に建てられた建築家J.H.モーガンの旧邸で、モーガン亡き後、主屋部分が二度の火災に遭い、かなりの損傷を受けたため、現在はボランティア活動など、修復再生に向けた活動を行っています。

※集合写真の右上に写っているのが、「旧モーガン邸」です。



「警察署救出救助部隊」合同重機操作訓練に協力 [関東支社]

東京湾岸パートナーズシップ参画企業である当社は、東京湾合材工場の敷地内で、東京湾岸警察署・月島警察署・三田警察署の各「警察署救出救助部隊」の合同重機操作訓練において、重機の操縦方法の指導や確認、操縦訓練のサポートを行いました。

今回の協力に対し、東京湾岸警察署長から感謝状が授与されました。

また、その訓練の様子はNHKの取材を受け、テレビ放映されました。



環境技術をメインテーマに、時代のニーズに対応した開発・研究を推進しています。

大成ロテック技術研究所（埼玉県鴻巣市）は、昭和39年の開設以来、道路舗装の材料、工法の開発研究、基礎技術、応用技術の研究を行っています。また、常にその時代の社会ニーズに目を向け、研究テーマを決めています。



社会や時代が必要としている技術テーマを設定

アスファルトやコンクリートなど、舗装に用いる材料や施工方法・施工管理手法に関連した開発研究をはじめ、自然と生活環境の改善など、社会と時代のニーズの変化にも対応した活動を展開しています。

近年、温暖化やヒートアイランド現象など、私たちの生活において環境問題が大きな問題となる中で、研究所においても環境に配慮した開発に重点を置いています。具体的には、中温化アスファルト混合物によるCO₂発生量の削減をはじめ、保水性舗装や遮熱性舗装などによるヒートアイランド対策としての環境対策技術、寒冷地における路面凍結の防止、天然土を利用した土系舗装など、安全性、自然および地域性に密着した研究を続けています。



情報発信・研究会活動

技術研究所では、研究開発業務のなかで得られた知見を日本道路会議や土木学会全国大会、公的機関誌などに積極的に発表し、環境の保全、安全安心な国民生活の確保、利便性の向上に貢献しています。

■発表論文集・機関誌リスト(1995~2012)

発表先	発行機関	件数	その他の文献名
日本道路会議論文集	日本道路協会	138	
土木学会 年次学術講演会講演概要集	土木学会	144	EXTEC, コンクリートテクノ,
土木学会 舗装工学論文集	同上	24	コンクリート工学年次論文報告集, 建設の機械化,
土木学会 論文集	同上	15	建設機械, 地盤工学研究発表会, 土木施工, 道路,
北陸道路舗装会議技術報文集	北陸道路舗装会議実行委員会	12	農業土木学会大会講演会要旨集,
舗装(機関誌)	(株)建設図書	71	セメント・コンクリート, セメント・コンクリート論文集,
道路建設(機関誌)	日本道路建設業協会	37	国土技術政策総合研究所報告, ダム,
アスファルト(機関誌)	日本アスファルト協会	20	ダム技術講演討論会テキスト, 土と基礎, 土木技術,
アスファルト合材(機関誌)	日本アスファルト合材協会	7	土木技術資料
あすふあるとにゆうざい(機関誌)	日本アスファルト乳剤協会	5	
その他の機関誌など		55	
合計		528	

また、日本道路建設業協会が2年に1回募集する懸賞論文にも積極的に応募し、直近の10年間で、3等以上が8件(大手舗装会社8社中1位)の入賞実績を誇っています。

さらに、舗装に関する各種技術研究会に参画し、自社技術レベルの向上や技術の標準化、普及活動にも取り組んでいます。

■参加研究会と活動概要

研究会名称	活動概要
つくば舗装技術交流会	舗装に関する試験・研究の合理的かつ効果的な立案・遂行と舗装に関する新技術・新工法の発展に資することを目的とする。
路面温度上昇抑制舗装研究会	保水性舗装技術研究会と遮熱性舗装技術研究会が統合して発足した研究会で、ヒートアイランド現象の一要因とされる路面温度の上昇を抑制する技術の普及活動。
凍結抑制舗装技術研究会	冬期における道路交通の安全性確保を目的とした凍結抑制舗装の技術の向上と普及及び性能評価方法の確立などの活動。
地球温暖化対策技術(民生用)研究会	温暖化対策技術の開発・普及に取り組んでいる民間と環境省との政策対話、また、民間同士の連合による新たな技術の普及化活動。
ブロック・自然石舗装構造研究会	製品会社、道路建設会社、大学等で構成され、車両通行用途に対応可能な湿式工法によるブロック系舗装の設計施工要領(案)の作成を目的に活動。

オフィスにおける環境保護活動

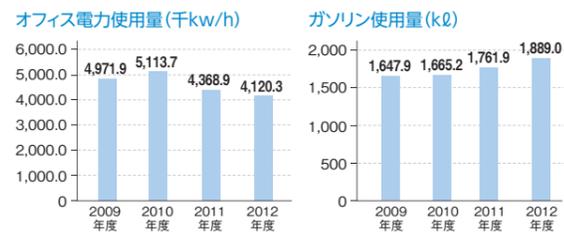
オフィスにおいても、省エネルギーやグリーン購入など日常の業務の中で、環境負荷の低減と同時に、環境保護意識を高める活動を展開しています。

エネルギー使用量の削減

2005年度を初年度とする「大成ロテック株式会社環境目的&目標」(以下「目的&目標」)で、オフィスの電力使用量、業務用使用する乗用車の燃料使用量削減を目標に掲げて活動しています。2012年度は引き続き「夏のクールビズの実施」「省エネ型電球の導入」「昼休みの消灯」「アイドルストップの実施」「使用燃料の削減」など活動に取り組みました。その結果、電力については前年より減少しましたが、ガソリンの使用量は逆に増加となったため課題を残しました。



昼休みの消灯を励行し、電力消費の削減を図りました。



コピー用紙の削減

「目的&目標」で、コピー用紙の使用量を削減する目標をたてました。役職員の間で、両面コピーの実施・ミスコピー用紙の裏紙の使用などに努めてきましたが、2012年度は総量で増加となり、一昨年と同程度の使用量でした。今後は、コピー用紙の更なる削減の徹底が必要です。また、一般事業系廃棄物の排出量は前年より減少する結果となりました。



コピーミスした用紙は破棄せず、必ず裏紙を使用しています。

ゴミの排出量を削減すると同時に、分別もより徹底して行いました。



グリーン購入比率の向上

「目的&目標」で、事務用品のグリーン購入を増やすことを目標として活動してきました。その結果、初期の目標である「グリーン購入の意識を植え付ける」という目標は達成できたと考え、現在は日常管理項目として活動しています。

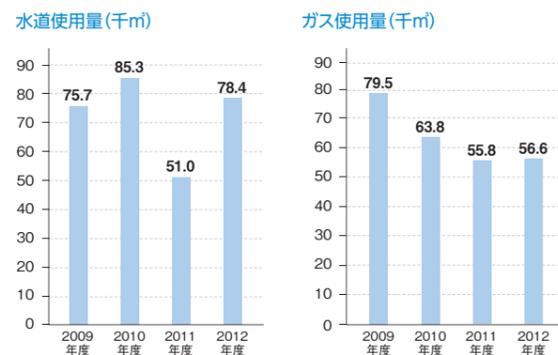
今後もこの活動を継続していきます。



水道、ガス使用量の削減

水道・ガスの使用量の削減は、「目的&目標」では項目にあがっていませんが、「貴重な資源を大切に使用する」という基本理念のもと、日常管理項目として活動してきました。

ガス使用量においては、LNGから都市ガスへの切替促進を継続しています。



クールビズ運動の実施

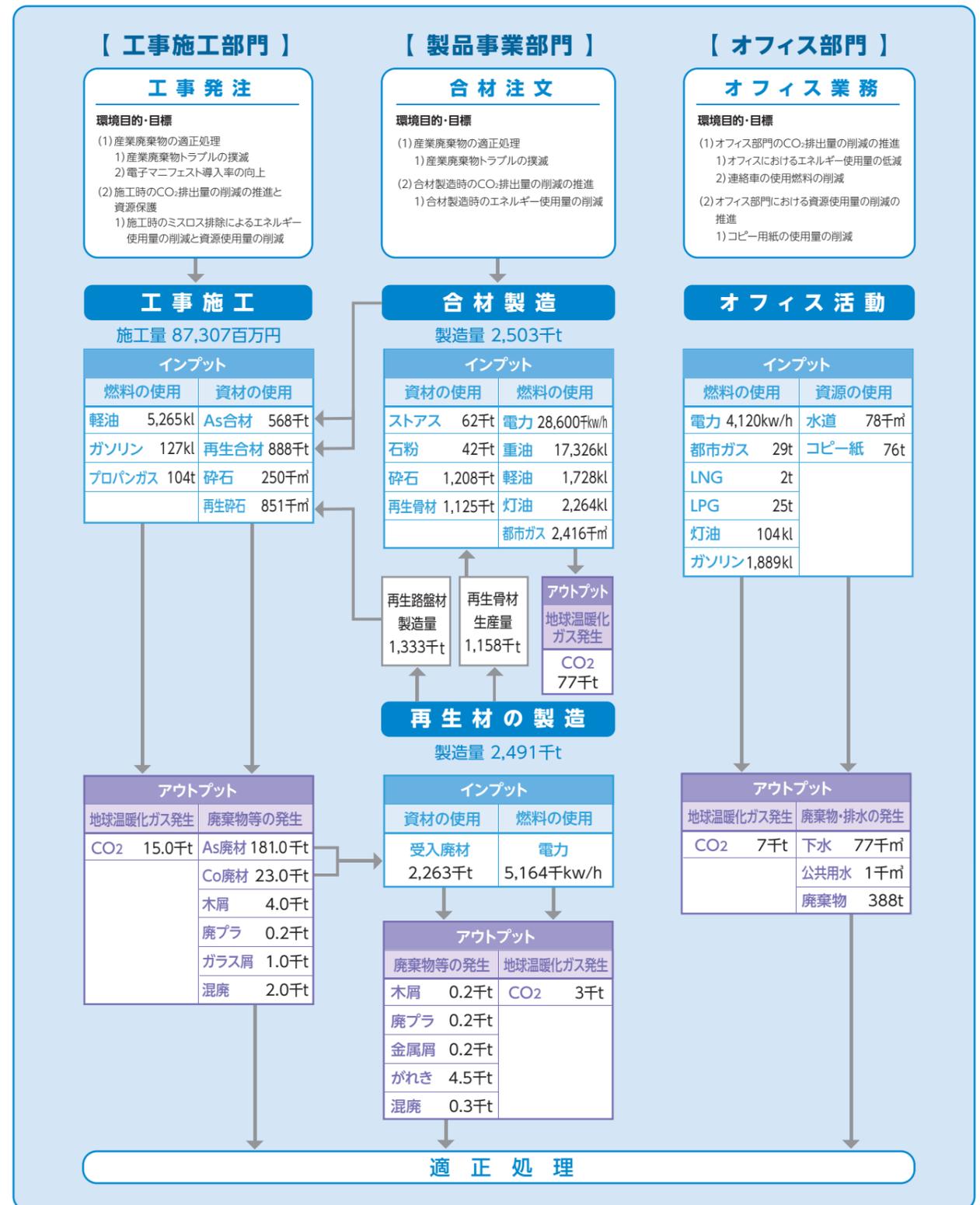
大成ロテックは環境省が提唱しているチームマイナス6%運動に参加しています。その活動の一環として2012年度も5月1日から10月31日まで、全社のオフィスでクールビズ(ノーネクタイ運動)を実施しました。



お客様にも告知し、ノーネクタイを徹底しまた室内温度は28℃に設定しました。

マテリアルフロー

大成ロテックは、単に資源を消費して製品化するにとどまらず、いったん廃棄された資源を再生するなどの有機的なフローを作りだし、資源の再利用と適正処理を心がけています。



マネジメントシステムの構築に基づく事業活動を実施しています。

現在、大成ロテックは、3つのマネジメントシステムを社内で運用しています。そのうち、活動内容が社外から見やすい安全衛生マネジメントシステム (SMS) については、COHSMS (コスモス) に基づく自己宣言方式を採用し、管理しています。また、運用実態が社外から見えにくい品質マネジメントシステム (QMS) と環境マネジメントシステム (EMS) については、国際規格のISO9001とISO14001に基づく外部認証登録を行い、第三者機関からその運用状態について認証登録を受けています。

【品質マネジメントシステム (QMS) 登録の概要】

JIS Q9001:2008 (ISO 9001:2008) 認証番号 MSA-QS-22

【環境マネジメントシステム (EMS) 登録の概要】

JIS Q14001:2004 (ISO14001:2004) 認証番号 MSA-ES-312

会社概要

商号	大成ロテック株式会社
本社設立	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー 昭和36年6月15日
資本金	113億5百万円 (平成25年3月31日現在)
建設業許可	国土交通大臣許可 (特-24) 第1964号
建築士事務所登録	1級建築士事務所 (東京都知事登録第21111号)
建設コンサルタント登録	国土交通大臣登録 建21第130号
宅地建物取引業者	東京都知事 (11) 第33255号
従業員数	970名 (平成25年3月31日現在)
営業種目	1. 次に掲げる工事の設計、施工、監理およびコンサルティング (1)道路工事 (2)舗装工事 (3)防水工事 (4)管工事 (5)造園工事 (6)その他の土木工事 (7)その他道路に関する工事 (8)建築工事 2. 前号の工事に使用する諸材料の製造および販売 3. 建設機械器具の設計、製作、販売、修理および賃貸 4. スポーツ施設、飲食店等の商業施設、医療介護施設等の経営および賃貸 5. 産業廃棄物処理に関する事業 6. 不動産取引および不動産管理に関する事業 7. 労働者派遣事業 8. 前各号に付帯関連する一切の事業

本社を中心に支社、事業所など、日本全国約200カ所の拠点を設置。各種工事の施工、合材製品の製造・販売など、万全の事業ネットワークで豊かな社会づくりに貢献します。

